

- 「堀辰雄生誕 120年展 “風立ちぬ” 堀辰雄と軽井沢の文学者たち」
- 「しあわせにな〜れ! 長谷川義史のえほん 展」
- 「生誕 90年 井上ひさし 展」(仮称)
- 「没後 20年 詩とメルヘンの旅 南桂子の世界展」(仮称)
- 「しあわせを伝えよう! 絵てがみ作品展」(仮称)
- 「池波正太郎展 一人間通の眼差し!」(仮称)

2024	4	5	6
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6	1 2 3 4	1 2 3 4	1
7 8 9 10 11 12 13	5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8	2 3 4 5 6 7 8
14 15 16 17 18 19 20	12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15	9 10 11 12 13 14 15
21 22 23 24 25 26 27	19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22	16 17 18 19 20 21 22
28 29 30	26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29	23 24 25 26 27 28 29
		30	30
7	8	9	
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	
1 2 3 4 5 6	1 2 3	1 2 3 4 5 6 7	
7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10	8 9 10 11 12 13 14	
14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20 21	
21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24	22 23 24 25 26 27 28	
28 29 30 31	25 26 27 28 29 30 31	29 30	
10	11	12	
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	
1 2 3 4 5	1 2	1 2 3 4 5 6 7	
6 7 8 9 10 11 12	3 4 5 6 7 8 9	8 9 10 11 12 13 14	
13 14 15 16 17 18 19	10 11 12 13 14 15 16	15 16 17 18 19 20 21	
20 21 22 23 24 25 26	17 18 19 20 21 22 23	22 23 24 25 26 27 28	
27 28 29 30 31	24 25 26 27 28 29 30	29 30 31	
2025	1	2	3
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4	1	1	1
5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8	2 3 4 5 6 7 8	2 3 4 5 6 7 8
12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15	9 10 11 12 13 14 15	9 10 11 12 13 14 15
19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22	16 17 18 19 20 21 22	16 17 18 19 20 21 22
26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28	23 24 25 26 27 28 29	23 24 25 26 27 28 29
	30 31	30 31	

| 利用案内 |

- 開館時間 展示部門……午前9時30分から午後6時まで
(観覧受付は午後5時30分まで)
- 研修室・和室…午前9時30分から午後9時まで
- 休館日 火曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始

| 交通案内 |

- 富山駅南口(JR・あいの風とやま鉄道)から
 - 市内電車(富山地方鉄道) 「大学前」行または環状線乗車、「県庁前」下車、徒歩5分
 - コミュニティバス「西ルート」乗車、「富山中部高校前」下車、徒歩2分
まいどはや
 - 徒歩 約15分
- 富山空港から タクシー約20分
- 北陸自動車道富山ICから 自動車約20分

| 駐車場 |

駐車場は南側に42台、東側に41台分あります。駐車料金は、最初の1時間まで330円です。以後、30分毎に110円が加算されます。ただし、文学館利用者については、3時間まで無料となります。館内で、駐車券の認証を受けてください。(認証を受けない場合、無料の特受を受けることができません。) ※駐車可能台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
TEL 076-431-5492 FAX 076-431-5490
<https://www.koshibun.jp/>



展覧会スケジュール 2024.4 ⇒ 2025.3

高志の国文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature



「堀辰雄生誕120年展 “風立ちぬ” 堀辰雄と軽井沢の文学者たち」

2024年3月23日(土)～6月3日(月)

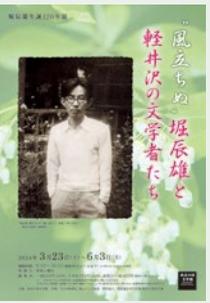
主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、富山テレビ放送
特別協力：堀辰雄文学記念館、軽井沢高原文庫

■観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般400円

堀辰雄(1904～1953)は、一高生だった大正12年(1923)の夏、室生犀星に伴われて初めて軽井沢を訪れ、その独特の雰囲気に魅了されます。その後も師である芥川龍之介や片山廣子、萩原朔太郎などの文学者と交流し、療養を兼ねてたびたび滞在。やがてこの地は、彼の文学にとって欠かせない場となっていきます。

堀は日本の私小説に飽き足らず、プルストヤリルケ、モーリヤックなど西洋文学の手法を採り入れたロマン(西洋の本格的な長編小説)を追求して、愛と青春、生と死などのテーマに挑み、『美しい村』『風立ちぬ』『菜穂子』などの作品を発表しました。これらは今なお若い世代の読者を魅了し続けています。また、日本の古典文学にも目を向け、『かげろふの日記』などの作品も著しました。

本展では、堀と軽井沢との関わりをたどりつつ、清新で詩心にあふれる堀の作風確立の過程と作品世界を、原稿、書簡、蔵書などの貴重な資料で紹介しあわせて、片山廣子による芥川龍之介宛書簡(当館蔵)を特別公開し、堀と交流の深かった軽井沢ゆかりの文学者たちを紹介します。



| 観覧料 |

- 常設展 一般200円(団体160円) ※団体料金は20人以上の場合 ※70歳以上の方の常設展の観覧は無料になります。(年齢を証明できるものが必要です。)
- 企画展 展覧会によって異なります。企画展観覧券で常設展示もご覧いただけます。

次の方は常設展・企画展ともに無料でご覧いただけます。
1. 小・中・高校・特別支援学校の児童・生徒及びこれに準ずる方(大学生は常設展のみ無料)
2. 各種障害者手帳をお持ちの方及び付添いの方(付添いは手帳をお持ちの方お一人につき1名まで)
※学校教育・社会教育活動として児童・生徒が観覧される場合、引率者の方も観覧料が無料になります。あらかじめ「観覧料免除申請書」に必要事項を記入のうえ、事前に当館まで提出ください(FAX可)。
観覧料免除申請書はホームページからダウンロードできます(PDF、Word)。
※都合により、記載内容を変更する場合があります。詳しくは高志の国文学館 HP をご覧になるか事務局までお問い合わせください。



「しあわせにな〜れ！ 長谷川義史のえほん展」

2024年6月15日(土)～9月2日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、北日本放送
特別協力：空色画房

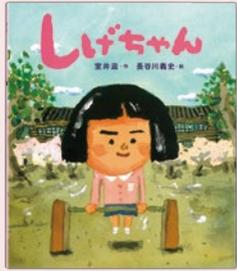
観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般400円

せかいをへいわにする ほんきのあいことば 「いいからいいから」

長谷川義史のえほんは、つよい生命力が感じられるダイナミックな筆づかいと自由でのびのびとした構図に特徴があり、個性的で愛らしい登場人物がくりひろげるユーモアあふれるストーリーにより、読者をゆたかな笑いの世界へといざないます。

家族や大切な人との思い出や自身のルーツを題材にした作品には、ほろりとさせられたり、あたたかい気持ちにさせられたり、また、戦争や震災など世の中の動きを真摯にうけとめて描いた作品では、あたり前のようにある日常の大切さを教えてください。

本展は、みんなが笑顔になり、平和になってほしいというメッセージが込められた、長谷川義史のえほんの世界を原画で楽しめるよう、子どもたちへの夏休みのプレゼントとして企画しました。



【しげちゃん】
(室井滋・作、長谷川義史・絵、金の星社、2011年)

「生誕90年 井上ひさし展」(仮称)

2024年9月14日(土)～11月24日(日)

主催：高志の国文学館 共催：富山新聞社、チューリップテレビ
特別協力：井上事務所、仙台文学館、暁筆堂文庫

観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般400円

むずかしいことをやさしく やさしいことをふかく ふかいことをおもしろく 井上ひさし

小説家、劇作家と幅広く活躍した井上ひさし(1934～2010)は、自ら暁筆堂を名乗るほど暁筆でした。しかし、その作品の完成度は高く、笑い、ことば遊び、パロディ、どんでん返しなど、ことばの魔術師と呼ばれるほど日本語の豊かさとおもしろさにあふれています。

放送作家として手がけた『ひょっこりひょうたん島』は国民の人気番組となり、1972年に『手鎖心中』で第67回直木賞を受賞、1981年に刊行した『吉里吉里人』で、第2回日本SF大賞、第33回読賣文学賞を受賞しました。1984年には劇団こまつ座を旗揚げし、『頭痛肩こり樋口一葉』『父と暮せば』など、演劇史に残る話題作を発表し続けました。

生誕90年を記念する本展では、井上ひさしの文学世界に迫ります。



撮影：佐々木隆二

「没後20年 詩とメルヘンの旅 南桂子の世界展」(仮称)

2024年12月7日(土)～2025年2月11日(火・祝)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、チューリップテレビ
協力：ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

観覧料 一般400円(320円) 大学生200円(160円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般320円

さあ、出発!! 南桂子の世界をめぐる旅

南桂子(1911～2004)は、現在の富山県高岡市に生まれ、県立高岡高等女学校では絵画制作や詩作に親しむ多感な少女時代を過ごしました。戦後まもなく上京し、銅版画と出会った南は、パリやサンフランシスコなど海外で活躍し、詩情あふれる銅版画作品を残しました。

銅版画に出会う前の一時期、南は壺井栄に師事し、童話作家を志していたことがありました。新聞に掲載された作品のほか、遺品の中着箱の中から詩や童話を書きつけた原稿用紙も見つかり、南桂子のもうひとつのメルヘンの世界をのぞき見ることができます。

没後20年に開催する本展では、銅版画と詩と童話をとおして南桂子の航路をたどり、メルヘンの世界を旅します。



南桂子「2人の少女」1967年
エッチング、ソフトグランドエッチング、紙
協力：ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

「池波正太郎展 一人間通の眼差し!」(仮称)

2025年3月29日(土)～6月9日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、富山テレビ放送
特別協力：台東区中央図書館池波正太郎記念文庫、上田市真田太平記念館、
南砺市井波「池波正太郎ふれあい館」、株式会社オフィス池波(予定)

観覧料 一般400円(320円) 大学生200円(160円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般320円

越中・井波を愛した“鬼平”

『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』『真田太平記』など、代表作の相次ぐドラマ化、映画化により今なお人気を衰えることのない作家・池波正太郎(1923～1990)。

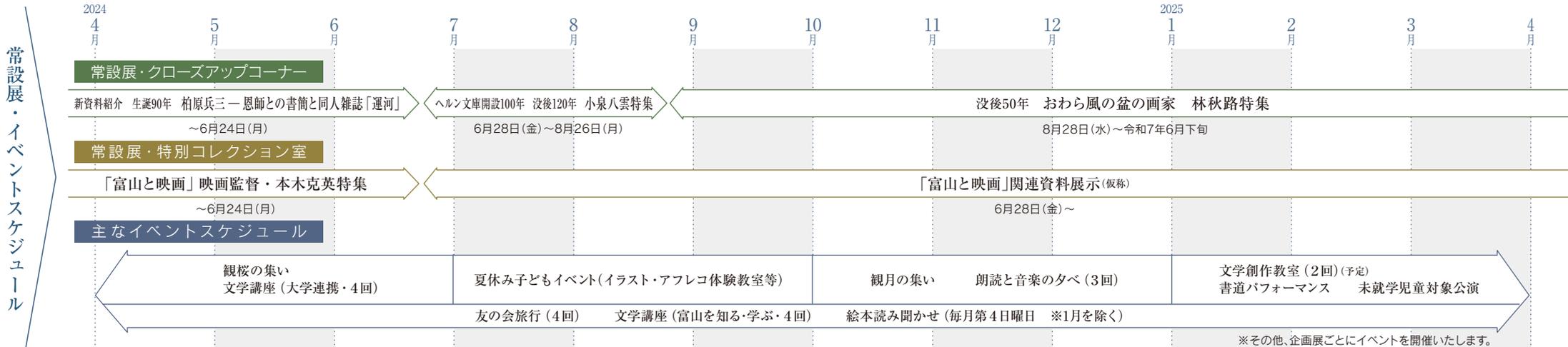
独自の歴史観がひかる司馬遼太郎、市井の人々、下級武士の姿を描いて共感を得た藤沢周平に対して、池波正太郎は酸いも甘いもかみ分けた人間通の眼差しが読者を魅了しました。

時代小説の中でいかにも旨そうな料理を取り上げた池波は、食やシネマディクト(映画狂)らしいエッセイの名手としても知られています。

時代小説とエッセイなど数々のベストセラーを生んだ人間通・池波正太郎の作品世界の魅力に迫る北陸初の本格的な企画展にご期待ください。



池波正太郎記念文庫書齋復元コーナー



常設展・イベントスケジュール

「しあわせを伝えよう！ 絵てがみ作品展」(仮称)

2025年2月22日(土)～3月17日(月)

主催：高志の国文学館 観覧料 無料

全国から募集した、それぞれの「しあわせ」を感じる 絵てがみ作品を展示!

ウェルビーイング(真のしあわせ)をテーマに、普通よりもちょっと大きなサイズの絵てがみ作品を全国から募集し、展示します。見る・聞くだけではない「創る」文学の楽しさやウェルビーイングの身近さを、ぜひご体感ください。
※作品募集に関する詳細は、文学館のウェブサイトなどでご案内します。

